

令和5年度事業報告

I 概要

令和5年度も従来業務である請負・委任のほか、派遣事業の推進と会員獲得に取り組んできた。新型コロナウイルス感染症は5類へと移行し、少しずつではあるが仕事の受注は戻ってきたが、会員拡大については相変わらず大変厳しい一年となった。

II 事業報告

1. 会員の増強

会員募集については、市広報誌へ掲載、チラシの配布などのさまざまな機会をとらえて募集を行った。また、新規入会者の説明会の毎週開催や、事業拡大推進員による支所地域での巡回相談や職業相談会の参加し、会員獲得に努めた。また、今年度は会員紹介キャンペーンも新たに実施した。

しかし残念ながら、令和5年度末の登録会員数は680名で、前年度末に比べて24名の減少となった。

(1) 地域別会員数 (人)

地域	性別	区 分		計
		男 性	女 性	
高 山		235 (11)	125(6)	360(17)
国 府		56	39	95
丹生川		21(3)	6	27(3)
清 見		25	6	31
荘 川		21	10	31
一之宮		13(1)	11	24(1)
久々野		33(2)	12	45(2)
朝 日		19	9	28
高 根		6	6	12
上 宝		13	14	27
合 計		442 (17)	238(6)	680(23)

() 内は、特別会員数で会員数に含まれている

(2) 年齢別会員数 (人)

年齢別	性別	区 分		計	構成比
		男 性	女 性		
60歳未満		0	0	0	0%
60～64		6	16	22	3.2%
65～69		47	36	83	12.2%
70～74		126	72	198	29.1%
75～79		130	67	197	29.0%
80歳以上		133	47	180	26.5%
合 計		442	238	680	100.0%

※1 平均年齢75.9 (男性76.7、女性74.6)

※2 最高齢 男性93歳、女性93歳

2. 事業の実績

公共団体、民間企業、一般家庭等の皆様から多くの就業機会をいただいた。特に公共からは新たな事業を発注頂くなど久しぶりに契約額が増加となりました。また、冬季間の除雪業務等についても増加となりました。

契約額金額は174,173,698円で対前年比102.9%（4,948千円）の増加となった。

(1) 事業実績

区 分	実 績	備 考
受注件数	3,585件	
就業実人員 ①	538人	
就業延人員 ②	61,684人日	
就業率	81.9%	① / 正会員数
受注金額	174,173,698円	対前年比94.5%
内 配分金 ③	152,299,228円	
1人当たり配分金	2,469円	③ / ②
実働会員1人当り配分金	283,084円	③ / ①
実働会員月間就業日数	9.6日	② / ① / 月数

(2) 公共・民間等別事業実績

金額 区分	契 約 金 額		前年比
	令和5年度	令和4年度	
公共事業	64,349,642円	59,285,918円	108.5%
一般企業	88,172,495円	89,156,746円	98.9%
個人・家庭	21,651,561円	20,783,601円	104.2%
合 計	174,173,698円	169,226,265円	102.9%

(3) シルバー派遣事業実績(県シ連高山市事務所)

国が示す適正就業ガイドラインに沿った事業運営を推進するため、請負(委託)契約では受注できない仕事をシルバー派遣で実施した。

受注件数は59件、契約金額は52,573千円、登録会員は235名、派遣就業延人員は9,024人日で、契約金額では、前年度比111.9%（5,571千円）の増加となった。

3. 総会、理事会及び各委員会等の活動状況

(1) 定時総会(5/26)高山市民文化会館

出席会員50名、委任状等430名、計480名

令和4年度事業報告及び収支決算報告、令和4年度補正予算・令和5年度事業計画・収支予算・令和4年度事故の報告

(2) 理事会

① 第1回理事会 (5/11)

令和4年度事業報告及び収支決算報告、令和5年度定時総会議案内容の件、被表彰者の承認、理事長に対する権限委任

② 第2回理事会 (12/5)

令和5年度上半期事業収支報告、監査報告、令和5年度事業計画の変更及び収支補正予算(第1号)、理事会運営規定制定の件、総会運営規定制定の件、理事長に対する権限委任

⑤ 第3回理事会 (3/26)

令和6年度役員賠償責任保険の件、令和5年度事業計画の変更及び収支補正予算(第2号)、令和6年度事務費率の件、帳簿書類の処分の件、令和6年度事業計画及び収支予算、令和6年度定時総会の開催の件、理事長に対する権限委任

(3) 就業委員会

① 新入会員就業説明会の実施 (毎週水曜日開催)

開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受講者数 (人)	11	12	4	6	2	5	7	9	5	5	6	4	76

② 会員紹介キャンペーンの実施 12名紹介

(4) 安全委員会

- ① 全国安全就業強化月間7月
- ② 安全パトロールの実施
- ③ 窓口対応時に安全就業の呼びかけ
- ④ 交通安全講習会の開催 (2/4)

(5) 広報委員会

- ① 広報委員会
会報「こだま」校正及び発行(2回)

(6) 監査

- ① 令和4年度下半期及び決算監査 (4/27) 事業・収支状況
- ② 令和5年度上半期監査 (11/14) 事業・会計執行状況

4. 研修、講習会等の開催状況

(1) 高齢者活躍人材育成講習会 (県シ連主催)

- ① 草刈機安全衛生講習会 (7/7) 一般受講者 15名
- ② スマートフォン講習会(11/15) 一般受講者 9名
- ③ 素敵なライフプラン(終活)(11/17) 一般受講者 8名

(2) おもてなし案内人ガイド養成講座

- ① 新人ガイド養成講座(7/19~10/17) 会員 6名
- ② ガイドスキルアップ講座 (3/27) 会員 20名

5. 就業分野の開拓・拡大

事業の開拓と拡大については、引き続き発注先の事業所等を訪問、また公共事業の請負・派遣の発注についても、市長及び市各部所、各支所責任者にシルバー事業への理解と協力をお願いした。

6. 安全就業の徹底

新入会員へ安全就業についての周知、受注時における職員による就業場所の安全確認、会員の就業依頼時に直接安全確認等の安全意識の啓発等を行った。また、安全委員会及び職員により現場パトロールを行い安全就業のお願いをした。

令和5年度の事故発生件数は、本人傷害事故1件（前年3件）、対人事故0件（前年0件）、対物事故が4件（前年2件）発生した。

今後もあらゆる機会をとらえて、会員の安全意識の高揚と徹底を図る。

7. 適正就業の推進

就業の基本である臨時的・短期的な形態で適正就業が行われているかを検証し、請負と派遣の区別など法令遵守の徹底により請負から派遣に移行するなど、国が示す適正就業ガイドラインに沿って適正就業を推進した。

8. 自主事業の実施

観光ガイド(おもてなし案内人)

コロナ禍も落ち着き、観光客も少しずつ戻り始めた事により、ガイド依頼も昨年度より増加した。

現在ガイド人数は22名で、令和5年度の受注件数は117件で、前年度比160%(44件)の増加となった。

9. 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

令和5年度も引き続き、事業拡大推進員により地域の労働者不足・現役世代を支える分野への請負・派遣事業の拡大を図るため、ハローワーク主催による地域巡回職業相談会の参加、毎週水曜日にはハローワークで雇用保険受給者を対象とした就業相談会を実施した。また事業所への訪問により事業の派遣事業等の拡大に努めた。

10. 指定管理施設の運営事業

指定管理者として受託している3施設（高山市丹生川・国府老人いこいの家、国府町木曾垣内地区体育施設）の管理・運営を実施した。

各施設の利用状況は下記のとおりです。

国府老人いこいの家	1,420人
丹生川老人いこいの家	255人
国府町木曾垣内地区体育施設	10,749人

1 1. 普及啓発事業

公益社団法人としてホームページを更新し、センター事業や運営内容を掲載し、情報を公開した。

また、会報「こだま」の発行、シルバーチラシの配布、市主催の就職面談会、地域巡回相談会に参加、さらには社会福祉協議会主催の地域ボランティア活動講座にも参加し、シルバー事業の啓発、高齢者の就業相談事業を行った。

1 2. ボランティア活動

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せたため、久しぶりの活動となった。

- ① 手筒花火大会後、河川敷の清掃(8/10 17名)
- ② 上宝地域がんぱろう会(各地域クリーン作戦 20名)
- ③ 剪定班等による福祉センター敷地内の植栽と花壇の管理。(9名)

1 3. 事務局の強化とセンターの健全経営について

事務局は、センター事業を円滑に運営するために、財政運営や法人管理、各事業の管理、会計処理など多岐にわたる業務を行っている。

派遣事業の推進により事務量も増大し多様化となっている中で、事務処理効率化と職員の資質の向上など事務局体制の強化を行った。

さらには、公益社団法人として、財政面での運営の適正化と法令遵守に努め、事務局機能の効率化など限られた財源を有効に活用できるよう、財務体質の健全化に努めた

公益社団法人高山市シルバー人材センター

附 属 明 細 書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	46,920	205,710	△ 158,790
普通預金	23,566,484	19,994,359	3,572,125
未収金	11,822,713	10,125,478	1,697,235
仮払金	56,678	81,204	△ 24,526
立替金	0	0	0
前払金	394,770	453,300	△ 58,530
流動資産合計	35,887,565	30,860,051	5,027,514
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
減価償却引当資産	7,721,795	7,721,795	0
経営調整資金積立資産	14,183,158	14,183,158	0
特定資産合計	21,904,953	21,904,953	0
(2) その他固定資産			
車輛運搬具	4	4	0
什器備品	3	3	0
一括償却資産	0	0	0
電話加入権	233,501	233,501	0
その他固定資産合計	233,508	233,508	0
固定資産合計	22,138,461	22,138,461	0
資産合計	58,026,026	52,998,512	5,027,514
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	13,435,211	11,173,824	2,261,387
前受金	1,571,000	1,679,063	△ 108,063
預り金	331,209	0	331,209
流動負債合計	15,337,420	12,852,887	2,484,533
負債合計	15,337,420	12,852,887	2,484,533
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(21,904,953)	(21,904,953)	(0)
正味財産合計	42,688,606	40,145,625	2,542,981
負債及び正味財産合計	58,026,026	52,998,512	5,027,514

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年同月	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	174,173,698	169,226,265	4,947,433
受取配分金	152,299,228	153,371,472	△ 1,072,244
受取材料費等	7,612,515	5,003,227	2,609,288
受取事務費	14,261,955	10,851,566	3,410,389
指定管理事業収益	6,102,000	5,558,000	544,000
指定管理事業収益	6,102,000	5,558,000	544,000
労働者派遣事業等受託収益	5,983,875	5,308,017	675,858
労働者派遣事業等受託収益	5,983,875	5,308,017	675,858
職業紹介事業受託収益	0	0	0
職業紹介事業受託収益	0	0	0
受取会費	1,957,000	1,996,000	△ 39,000
正会員受取会費	1,645,500	1,685,000	△ 39,500
特別会員受取会費	11,500	11,000	500
賛助会員受取会費	300,000	300,000	0
受取補助金等	40,679,000	39,329,000	1,350,000
受取連合交付金	19,679,000	19,329,000	350,000
受取高山市補助金	21,000,000	20,000,000	1,000,000
特定資産運用益	21,904	10,830	11,074
特定資産受取利息	21,904	10,830	11,074
雑収益	1,693,038	1,909,441	△ 216,403
受取利息	243	237	6
雑収益	1,692,795	1,909,204	△ 216,409
経常収益計	230,610,515	223,337,553	7,272,962
(2) 経常費用			
事業費	223,619,345	222,140,575	1,478,770
支払配分金	152,299,228	153,371,472	△ 1,072,244
支払材料費等	5,598,281	4,263,292	1,334,989
給料手当	33,744,672	32,594,350	1,150,322
臨時雇賃金	783,492	0	783,492
法定福利費	4,709,157	4,953,271	△ 244,114
退職給付費用	1,000,674	1,157,604	△ 156,930
福利厚生費	56,562	73,996	△ 17,434
会議費	1,377	4,868	△ 3,491
旅費交通費	185,670	273,320	△ 87,650
通信運搬費	2,345,865	2,613,422	△ 267,557
消耗備品費	0	0	0
消耗品費	1,545,583	1,619,208	△ 73,625
修繕費	658,911	693,991	△ 35,080
印刷製本費	256,740	392,920	△ 136,180
光熱水費	2,370,968	2,370,943	25

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年同月	増減
賃借料	3,443,930	3,383,499	60,431
保険料	2,060,159	2,162,940	△ 102,781
諸謝金	42,000	779,106	△ 737,106
租税公課	4,416,390	3,466,050	950,340
委託費	7,749,889	7,482,040	267,849
指定管理修繕費精算	75,300	213,996	△ 138,696
雑費	274,497	270,287	4,210
管理費	4,448,189	3,765,672	682,517
役員報酬	254,500	265,000	△ 10,500
給料手当	1,692,145	1,161,820	530,325
法定福利費	293,786	202,730	91,056
退職給付費用	80,856	59,196	21,660
会議費	16,649	8,113	8,536
旅費交通費	86,000	121,929	△ 35,929
通信運搬費	63,261	64,800	△ 1,539
消耗品費	218,152	154,717	63,435
什器備品費	99,550	0	99,550
印刷製本費	0	12,210	△ 12,210
光熱水料費	97,852	83,359	14,493
賃借料	139,792	100,331	39,461
保険料	245,450	240,960	4,490
諸謝金	0	0	0
租税公課	400	1,000	△ 600
支払負担金	348,000	366,800	△ 18,800
委託費	775,380	834,752	△ 59,372
雑費	36,416	87,955	△ 51,539
経常費用計	228,067,534	225,906,247	2,161,287
評価損益等調整前当期経常増減額	2,542,981	△ 2,568,694	5,111,675
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,542,981	△ 2,568,694	5,111,675
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
車両運搬具除去損	0	1	
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	2,542,981	△ 2,568,695	5,111,676
一般正味財産期首残高	40,145,625	42,714,320	△ 2,568,695
一般正味財産期末残高	42,688,606	40,145,625	2,542,981
Ⅱ 正味財産期末残高	42,688,606	40,145,625	2,542,981

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により実施している。

(4) 引当金の計上方法

退職給付引当金は、期末退職給付の要支給額に相当する金額から中小企業退職金共済給付額を控除した金額を計上している。

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

認定法第5条第12号の規定により作成しない。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
減価償却引当資産	7,721,795	0	0	7,721,795
経営調整資金積立	14,183,158	0	0	14,183,158
合計	21,904,953	0	0	21,904,953

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
減価償却引当資産	7,721,795	(0)	(7,721,795)	(0)
経営調整資金積立	14,183,158	(0)	(14,183,158)	(0)
合計	21,904,953	(0)	(21,904,953)	(0)

6. 担保に供している資産

該当事項なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	5,236,427	5,236,423	4
什器備品	762,630	762,627	3
合計	5,999,057	5,999,050	7

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当事項なし
9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く)等の偶発債務
該当事項なし
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項なし
11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
高年齢者就業機会確保事業費交付金	国	0	7,329,000	7,329,000	0	—
雇用開発支援事業費等交付金	国	0	12,350,000	12,350,000	0	—
運営補助金	市	0	21,000,000	21,000,000	0	—
合 計		0	40,679,000	40,679,000	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当事項なし
13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項なし
14. 関連該当者との取引の内訳
該当事項なし
15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
認定法第5条第12号の規定により作成しない
16. 重要な後発事象
該当事項なし
17. その他
該当事項なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産の明細及び特定資産の明細は、「4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載のとおりであるため省略している。

2. 引当金明細

該当なし

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
現金・預貯金	現金	現金	シルバー人材センター事業の運転資金として	20,000	
		現金	指定管理事業の運転資金として	26,920	
		普通預金 高山信用金庫日枝支店	シルバー人材センター事業の運転資金として	7,577,051	
		普通預金 高山信用金庫日枝支店	指定管理事業の運転資金として	8,853,464	
		普通預金 飛騨信用組合山王支店	シルバー人材センター事業の運転資金として	6,093,125	
		普通貯金 飛騨農業協同組合千島支店	シルバー人材センター事業の運転資金として	466,724	
		普通貯金 飛騨農業協同組合高山支店	シルバー人材センター事業の運転資金として	473,592	
		普通預金 高山信用金庫日枝支店	法人管理の運転資金として	102,528	
	未収金	高山市役所 ほか	シルバー人材センター事業に供する契約金額 ほか	10,761,592	
		公社) 県シ連	派遣事業手数料	803,261	
		損害保険ジャパン(株)	シルバー保険精算分	161,600	
		高山市役所	令和5年度指定管理料	95,000	
		法人会計	事務費収入	1,260	
	仮払金	松本徽章工業(株)	シルバー帽子	49,940	
		全シ協厚生年金基金	企業年金他	6,738	
	前払金	自動車リサイクル促進センター	リサイクル料	26,190	
		(株)全福サービス	令和6年度役員賠償責任保険料・個人情報漏えい保険料	170,580	
		表示灯	令和6年度広告料	198,000	
	流動資産合計				35,887,565
	(固定資産)				
特定資産	減価償却引当資産	定期貯金 飛騨農業協同組合千島支店	資産取得資金として管理されている預金	7,721,795	
	経営調整資金積立資産	定期貯金 飛騨農業協同組合千島支店	シルバー人材センター事業の運営資金として管理されている預金	14,183,158	
その他の固定資産	車両運搬具	軽バン 飛騨480い2752	シルバー人材センター事業に使用している	1	
		軽バン 飛騨50え8238	シルバー人材センター事業に使用している	1	
		軽バン 飛騨480あ9700	シルバー人材センター事業に使用している	1	
		普通車バン 飛騨400さ7327	シルバー人材センター事業に使用している	1	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	什器備品	耐火金庫	シルバー人材センター事業に使用している	1
		除雪機	シルバー人材センター事業に使用している	1
		パソコン	シルバー人材センター事業に使用している	1
	電話加入権	4台	シルバー人材センター事業に使用している	233,501
固定資産合計				22,138,461
資産合計				58,026,026
(流動負債)				
	未払金	配分金	シルバー人材センター事業に供する配分金の未払金額	9,274,978
		材料費等	シルバー人材センター事業に供する材料費	950,671
		給与・謝金・委託費等	連絡員委託費・臨時職員謝金	653,671
		通信運搬費・賃借料等	電話料等	679,768
		その他必要経費	OA機器借上料・保守料等	
		高山年金事務所	社会保険料等	647,338
		全国厚生年金基金	企業年金掛け金	55,068
		役員報酬等	役員報酬等	58,727
	租税公課	令和5年度消費税	1,114,990	
	前受金	会費	令和6年度正会員・特別会員会費	1,471,000
令和6年度賛助会費			100,000	
預り金	高山社会保険事務所 発注者	2月分社会保険料	323,855	
			7,354	
流動負債合計				15,337,420
負債合計				15,337,420
正味財産				42,688,606